



IBM WebSphere Commerce 5.4 新着情報

バージョン 5.4



IBM WebSphere Commerce 5.4 新着情報

バージョン 5.4

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品を使用する前に、41 ページの『特記事項』に記載する一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： What's New in IBM WebSphere Commerce, 5.4
Version 5.4

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2002.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 2001. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次

第 1 章 概要	1	商品管理	18
第 2 章 製品オファリング	3	RFQ (Request for Quotation: 見積依頼)	19
第 3 章 WebSphere Commerce Studio	5	RMA 機能を含む返品とリファンド	19
第 4 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規および変更されたコンポーネント	7	検索に関する機能強化	19
アクセス制御	7	セキュリティに関する機能強化	20
高度なユーザー、メンバー、および組織の管理	7	ストア・サービス	21
請求、送り状の送付、およびクレジットの管理	7	WebSphere Application Server 4.0.2.	21
購買サイドの購入	8	WebSphere Commerce Analyzer の機能強化	22
Catalog Manager	8	HTTP 上での XML	22
カタログ・サブシステム	9	第 5 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規コマンド	23
コラボレーション	9	URL コマンド	23
Commerce Accelerator の機能強化	10	タスク・コマンド (A ~ C)	24
コマース・モデル	11	タスク・コマンド (D ~ L)	25
構成マネージャー	12	タスク・コマンド (M ~ P)	25
契約ベースの商取引	13	タスク・コマンド (Q ~ Z)	26
クーポン	13	ビュー・コマンド	27
在庫管理	13	第 6 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規および変更されたデータベース・テーブル	29
ローダー・パッケージ	16	特記事項	41
マーケティング・サブシステム	16	商標	42
Commerce Integrator からのメッセージ拡張	16		
オーダー管理に関する機能強化	17		
組織管理コンソール	17		
Payment Manager	18		

第 1 章 概要

この文書では、WebSphere Commerce 5.4 の新機能と変更点について説明します。以前のバージョンの WebSphere Commerce Suite か WebSphere Commerce Business Edition のどちらかの使用経験があるユーザーのために、新着情報は、今回のリリースの新機能のクイック・リファレンスとして設計されています。

この文書では、WebSphere Commerce Business Edition および WebSphere Commerce Professional Edition は、*WebSphere Commerce* と記載される場合もあります。別々に記載する必要がある箇所では、特定のエディションまたはプラットフォームに固有の情報をイメージで示します。

以前のバージョンの WebSphere Commerce Suite から WebSphere Commerce Business Edition 5.4 への移行の概要と手順については、次の Web サイトの 1 つから入手可能な *マイグレーション・ガイド* を参照してください。


www.ibm.com/software/webservers/commerce/wc_pe/lit-tech-general.html

www.ibm.com/software/webservers/commerce/wc_be/lit-tech-general.html

第 2 章 製品オフライン

WebSphere Commerce Business Edition 5.4 は、Windows NT および Windows 2000 プラットフォームに加えて、AIX、Linux、Solaris オペレーティング環境、および OS/400 for iSeries 上で利用可能です。

- WebSphere Commerce コンポーネント
 - WebSphere Commerce サーバー
 - WebSphere Commerce アクセラレーター
 - WebSphere Catalog Manager
 - WebSphere Commerce 管理コンソール
 - 商品アドバイザー
 - Blaze Rules Server および Blaze Innovator Runtime
- IBM DB2 ユニバーサル・データベース 7.1.0.55 ( OS/400 の場合は組み込まれていない) 詳細については、*WebSphere Commerce Installation Guide for iSeries* を参照)
- IBM DB2 エクステンダー 7.1 ( OS/400 ではサポートされていない)
- IBM HTTP Server 1.3.19.1 ( OS/400 の場合は組み込まれていない。詳細については、*WebSphere Commerce Installation Guide for iSeries* を参照)
- WebSphere Application Server 4.0.2 アドバンスド版
-  IBM Developer Kit, Java Technology Edition 1.3 SR10w
-  IBM Developer Kit, Java Technology Edition 1.3 SR10 (ビルド ca130-20010925)
-  IBM Developer Kit, Java Technology Edition 1.3 SR10w
-  Java(TM) 2 SDK, Enterprise Edition 1.3.1.04
-  IBM Developer Kit, Java Technology Edition 1.3.1
- IBM WebSphere Payment Manager 3.1.2 (以下のコンポーネントを含みます)
 - Payment Manager Cassette for SET(TM) 3.1.2 ( Linux の場合は組み込まれていない。)
 - Payment Manager Cassette for CyberCash 3.1.2
 - Payment Manager Cassette for VisaNet 3.1.2
 - Payment Manager Cassette for BankServACH 3.1.2
- IBM WebSphere Commerce Analyzer 5.4
- Brio Broadcast Server 6.2

- IBM SecureWay Directory Server 3.2.1 ( OS/400 の場合は組み込まれていない。詳細については、*WebSphere Commerce Installation Guide for iSeries* を参照)
- Segue SilkPreview(TM) V1.0
- WebSphere Commerce Recommendation Engine powered by LikeMinds 5.4
- Lotus SameTime 2.5
- Lotus QuickPlace 2.0.8

ハードウェアとソフトウェアの要件の詳細については、*WebSphere Commerce Business Edition* インストール・ガイド を参照してください。

第 3 章 WebSphere Commerce Studio

WebSphere Commerce Studio は、単一の環境におけるすべてのストア開発ツールを統合しています。WebSphere Commerce Studio は、開発ツールに加えて、WebSphere Commerce の開発ライセンスも含んでいます。結果として、WebSphere Commerce Studio は、ストア開発者が開発環境でストアを作成およびテストに必要なものすべてを提供します。WebSphere Commerce Studio は、Windows NT および Windows 2000 プラットフォームでのみ利用可能です。

WebSphere Commerce Studio のパッケージには以下の製品が含まれています。

- WebSphere Studio アドバンスド版 バージョン 4.0
 - AppletDesigner
 - Page Detailer
 - IBM 分散デバッガー
- VisualAge for Java Enterprise Edition バージョン 4.0
- Blaze Advisor Builder 3.1.3
- Blaze Innovator Workbench 3.1.3
- WebSphere Commerce 5.4

前提条件を含むハードウェアとソフトウェアの要件の詳細については、*WebSphere Commerce Studio インストール・ガイド* を参照してください。

第 4 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規および変更されたコンポーネント

以下のセクションでは、WebSphere Commerce 5.4 における新規および変更されたコンポーネントについて説明します。

アクセス制御

現行リリースでは、階層構造のポリシーと役割ベースのシステムを導入することによって、アクセス制御機能が向上し、さらにリソース・ベースのモデルも用意されています。これにより、アクセス制御コンポーネントの柔軟性が向上し、カスタマイズしやすくなりました。アクセス制御ポリシーは、サイトの構築時に定義され、サーバーの稼働時にサーバーによって適用されます。

アクセス制御ポリシーは、グラフィック・ユーザー・インターフェースを使用するかまたは XML ファイルをインポートすることによって定義します。

高度なユーザー、メンバー、および組織の管理

個々のユーザー・プロファイルは、明示的な割り当てまたは暗黙的なグループ化の基準をサポートします。これらのプロファイルの作成には、Commerce Accelerator で顧客プロファイル・ウィザードを使用します。また、アクセス制御のために、管理コンソールを使用して、メンバー・グループを作成することもできます。たとえば、自分の組織内から発行されたオーダーを承認する権限も持っている顧客のグループを作成することができます。

さらに、今回のリリースでは、バッチ・ファイルを使用して顧客を登録する機能が新しく追加されました。

Business Business Edition では、このフィーチャーは、階層による組織構造をサポートするようになりました。この組織構造は、組織内のさまざまなレベルに属する顧客を反映します。バイヤー組織とセラー組織の両方が、各レベル内でどのユーザーが承認されるかを管理することができます。

請求、送り状の送付、およびクレジットの管理

Business WebSphere Commerce Business Edition には、オーダーに含まれる購入注文番号を使用してオーダーを処理する機能が組み込まれています。さらに、バイヤーの組織に合わせてカスタマイズされた送り状を発行する機能も追加されています。このフィーチャーは、各契約のオーダー、支払い、送り状、購入注文、およびクレジットの行をトラッキングする場合にも役立ちます。

購買サイドの購入

Business 現在のバージョンの WebSphere Commerce Business Edition はさらに、頻繁に繰り返されるオーダーを簡単に実行できるようにするリクイジション・リストもサポートしています。リクイジション・リストを定義しておけば、カタログを参照しなくとも、リクイジション・リストからオーダーを生成することができます。

Catalog Manager

WebSphere Commerce Catalog Manager は、カタログ管理を容易にするための種々の機能を持つ汎用ツールキットを提供します。Catalog Manager は、WebSphere Commerce スキーマに行われるカスタマイズを処理するために十分柔軟性があります。

Catalog Manager は、以下のことを行う手段を提供します。

1. ASCII および XML ファイル形式の複数の入力ソースから WebSphere Commerce にデータをインポートする
2. ASCII 形式から XML 形式にデータを変換し、再び ASCII 形式に戻す
3. 1 つの XML 形式から別の XML 形式にデータを再マップする
4. 複数の入力ストリームから 1 つの集合データベースにデータを集約する
5. Web ブラウザー・インターフェースを介してデータを作成 / 編集 / 削除する

Catalog Manager には以下のものがあります。

Catalog Manager ローダー・パッケージ

このパッケージは、主に、データを準備し、WebSphere Commerce データベースにデータをロードするためのコマンド・ユーティリティーで構成されています。ローダー・パッケージを使用して、WebSphere Commerce データベースに大量のデータをロードしたり、データを更新したりすることができます。ローダー・パッケージを使用すると、以下のことを実行できます。

- XML ドキュメントとしてデータベースからデータを抽出する
- XML データを代替 XML 形式に変換する
- データを文字で区切った可変長フォーマットから XML データ形式に変換する

Catalog Manager Web エディター

Web エディターを使用すると、Web ブラウザーを介してカタログ・データを作成、削除、および変更することができます。

Catalog Manager 管理ツール

Catalog Manager には、その機能の管理に役立つユーザー・インターフェースを持つ、以下の 2 つのツールも含まれています。

- テキスト変換ツール
- XML 変換ツール

カタログ・サブシステム

カタログ・サブシステムは、WebSphere Commerce サーバーのコンポーネントで、オンライン・カタログのナビゲーション、区分化、カテゴリ化、および関連を提供します。さらに、カタログ・サブシステムには、個別設定された買い物候補リストやカスタム・カタログを表示するページのサポート機能も含まれています。

今回の版では、マスター・カタログが新しく追加されました。マスター・カタログは、ストアの商品取引を管理するための中心的なツールです。マスター・カタログは、すべての商品とアイテムおよびそれらの標準の価格設定を含む単一のカタログです。すべてのストアがマスター・カタログを持つ必要があります。

オンライン・カタログでは、カタログ・サブシステムに付属する以下のフィーチャーを利用することができます。

グループ化

汎用のグループ化システムを使用して、さまざまな商品をカテゴリに分類し、オンライン・カタログ内にナビゲーション用の階層を作成することができます。

オンライン・カタログのエントリー

カタログのエントリーは、販売用の商品取引を表すオブジェクトの基本セットです。カタログのエントリーは、商品、アイテム、パッケージ、バンドル、およびダイナミック・キットに分類できます。また、取引上の地位は、契約に基づく動的な価格設定や、ネゴシエーションのオープン価格と予約価格にも使用されます。

構成可能な商品

外部の商品コンフィギュレーターを使用して、商品を動的に構成することができます。

マーチャンダイジング・アソシエーション

マーチャンダイジングを目的として、商品のアソシエーション（関連付け）を有効にすることができます。これらはクロスセル、アップセルの提示、および付属品提示になります。

権限ベースのカタログのフィルター操作

契約と商品のセットを使用して、さまざまな顧客グループ用に固有のカタログ・ビューを作成することができます。

コラボレーション

WebSphere Commerce は、2 つのタイプのコラボレーション機能（コラボレーション・ワークスペースとカスタマー・ケア）をサポートします。一方または両方の機能を使用するには、まず、各タイプのコラボレーションと関連した、サポートされているソフトウェアをインストールしなければなりません。

コラボレーション・ワークスペース

Business コラボレーション・ワークスペースは、バイヤーとセラー（またはセラー側の会計担当者）との間、およびセラーの組織内のビジネス・ユーザー間での契約条件の折衝などのビジネス情報を複数の者が共有するディスカッション・フォーラムです。コラボレーション・ワークスペースは、

Lotus QuickPlace を介して非同期式通信をサポートします。コラボレーション・ワークスペースを作成できるのは、バイヤー以外のすべての役割です。これは、WebSphere Commerce アクセラレーターと、WebSphere Commerce のデフォルトの QuickPlace テンプレートを使用して作成されます。ワークスペースにバイヤーを追加できるのは、コラボレーション・ワークスペースに QuickPlace マネージャーを使用してアクセスできるアカウント担当者またはアカウントティング・マネージャーだけです。コラボレーション・ワークスペースでは、メンバー・データがリレーショナル・データベース上ではなく、WebSphere Commerce とともに使用される LDAP サーバー上にある必要があります。コラボレーション・ワークスペースとワークスペース・メンバー情報の詳細は、WebSphere Commerce システムで管理します。コラボレーションで使用されるディスカッション・スレッド、通知、または添付ファイルはすべて QuickPlace サーバーに保管されます。コラボレーション・ワークスペースを使用するには、まず、LDAP を WebSphere Commerce 用に構成する必要があります。QuickPlace は、WebSphere Commerce や LDAP サーバーとは別のマシン上にインストールして構成する必要があります。詳細については、「WebSphere Commerce Additional Software guide」を参照してください。

カスタマー・ケア

カスタマー・ケアは、Lotus Sametime サーバーを使用して同期テキスト・インターフェースを介してリアルタイムの顧客サービス・サポートを提供します。顧客は、顧客サービス担当者 (CSR) に接続するために、サイトに入り、ストア・ページ上のリンクをクリックすることができます。その後、2 者がインターネット上で通信またはチャットすることができます。CSR は、WebSphere Commerce アクセラレーターを介してカスタマー・ケア・インターフェースにアクセスします。カスタマー・ケアを使用して、CSR は、顧客がアシスタンスを必要とするストア・ページを表示し、ショッピング・カートやプロフィール情報を検索することができます。カスタマー・ケアを使用すると、CSR がその他の CSR とチャットすることもできます。カスタマー・ケアを使用するには、まず、Sametime が WebSphere Commerce 用にインストールおよび構成されていなければなりません。詳細については、「WebSphere Commerce Additional Software guide」を参照してください。

Commerce Accelerator の機能強化

Commerce Accelerator は、この文書で説明するほとんどの新しいフィーチャー用のユーザー・インターフェースを提供するように機能が強化されました。さらに、2 つの設定を用意することでアクセラレーターの柔軟性が向上しています。この設定によって、サイトが企業と消費者のどちらにサービスを提供するかに応じて情報の表示方法を変更できます。

コマース・モデル

- **Business** 企業間取引ストア用の新しいストア・モデルは ToolTech と呼ばれます。これは、WebSphere Commerce に付属する初めての B2B (企業間取引) 用オンライン・ハードウェア・ストアです。ToolTech はセラーの e-commerce サイトで、バイヤーが実行できるタスクを強調表示します。ToolTech ストア・モデルでは、次のようなフィーチャーが強調表示されます。

契約ベースの購入

ToolTech を使用すると、バイヤーは、契約で指定された取引条件に基づいて購入を行うことができます。この取引条件は、カタログの表示、価格設定、オーダーのフルフィルメントなど、ストア内の任意のフィーチャーに対して設定することができます。

リクイジション・リスト

バイヤーは、ToolTech を使用して、新しいリクイジション・リストを作成したり、複数の組織間で共有されている既存のリクイジション・リストからオーダーを作成したりできます。

権限ベースのカタログ参照

ToolTech を使用すると、バイヤーは、契約の取引条件に基づいたランタイム・フィルターを使用してカタログを参照することができます。バイヤーは、さまざまな契約に基づく価格を参照することができますが、購入できるのは自分の契約に基づく商品だけです。

契約ベースの価格設定

ToolTech は、バイヤーの契約の取引条件で指定された価格セクション、有効期間、価格調整に基づいて価格を表示します。バイヤーは、購入に使用する契約 (および価格) を選択することができます。バイヤーは、同一のオーダー内で、複数の異なる契約に基づくアイテムの購入を選択することもできます。

カスタマイズされた開始ページ

すべてのホーム・ページは、バイヤーの組織に合わせて個別設定することができます。

RFQ の作成

バイヤーは、ToolTech を使用して、複数の商品に関する RFQ を作成することができます。

オーダーの分割

ToolTech を使用すると、バイヤーは、在庫内のアイテムの利用可能性を基準としてオーダーを分割することができます。

複数の配送先住所

ToolTech を使用すると、バイヤーは、アイテムごとに異なる配送先住所を選択することができます。

重量ベースの配送

ToolTech は、アイテムの重量を基にして送料を計算します。

商品検索機能

バイヤーは、ToolTech を使用して、属性、価格、およびキーワードを基にして商品やアイテムを検索することができます。

バイヤーの登録と承認

ToolTech は、自動的にバイヤーの登録の承認を行う機能を提供します。

- **Business-to-Consumer (企業と消費者間)** ストア用のストア・モデルが更新されています。このストア・モデルは、NewFashion という名前で、既存の InFashion サンプル・ストアを基にして作成されています。また、WebFashion サンプル・ストアでリリースされたいくつかの拡張機能が組み込まれています。NewFashion サンプル・ストアは、以下の新しいフィーチャーを提供します。

予定可能

NewFashion では、顧客は自分のオーダー内のアイテムごとに販売開始日を知ることができます。このフィーチャーは、リアルタイムの在庫を基にしています。

バック・オーダー

NewFashion では、顧客は、現在は在庫切れになっている任意のアイテムをバック・オーダーすることができます。

オーダーの分割

NewFashion では、顧客は、1 つのオーダーを 2 つのオーダーに分割することができます。

オーダー状況の追跡

NewFashion では、顧客は、自分のオーダーの状況を追跡することができます。

電子メールによる通知

NewFashion では、オーダーの状況の変化を電子メールで顧客に通知することができます。

構成マネージャー

構成マネージャー・インターフェースは、以下のノードを提供するように拡張されました。

クロス・サイト・スクリプト記述の防止

このノードは、許可不能と指定された属性または特性を含むユーザー要求をすべて拒否するフィーチャーへのアクセスを提供します。このノードは、このフィーチャーを有効にする方法と、許可されない属性と特性を指定するための入力フィールドを提供します。

パスワードの無効化

このノードでは、パスワードを無効にするユーザーを選択することができます。このフィーチャーを使用する場合、WebSphere Commerce ユーザーは、サイトのセキュアなページにアクセスする前に、パスワードを変更する必要があります。この機能を選択した場合、ユーザーは、パスワードを簡単に変更できるページにリダイレクトされます。

ログイン・タイムアウト

このノードを使用して定義できるパラメーターに従って、長時間非アクティブ状態になっている WebSphere Commerce ユーザーは、システムからログオフされ、ログオンし直すように要求されます。その後ユーザーが正常にログオンすると、WebSphere Commerce は、そのユーザーが行っていた元の要

求を実行します。ユーザーがログオンに失敗すると、元の要求は廃棄されて、そのユーザーはシステムからログオフされたままになります。

パスワードで保護されたコマンド

このノードを使用すると、WebSphere Commerce にログオンしている登録済みユーザーが指定された WebSphere Commerce コマンドを実行する要求について続行する前に、パスワードの入力を要求できます。

契約ベースの商取引

Business アカウントは、取引相手となるさまざまなバイヤー組織との関係を定義します。アカウントは、契約と顧客組織からのオーダーを整理するために役立ちます。また、アカウントを使用すると、特定の契約が適用される顧客が表示および購入できる商品を制御することによって、サイトでのバイヤーの購入方法を設定することができます。

アカウント・フィーチャーとは対照的に、契約は、セラーとバイヤー組織単位の間のトランザクションの詳細を定義します。契約には、その契約が適用されるすべての顧客からのオーダーに関する以下の情報が含まれます。

- ブラウズおよび購入できる商品セット
- 交渉された可能性のある価格設定と割引
- オーダーを配送する配送センター
- 購入義務と購入権限
- 支払いのタイプと方法
- 請求条件
- 返品とリファンド

アカウント担当者やセールスマネージャーは、Commerce Accelerator を使用して、ストア用に定義されたアカウントと契約を制御することができます。

クーポン

マーケティング・サブシステムに追加されたこのフィーチャーを使用すると、ショッパーに電子クーポンを提供することができます。クーポンは、キャンペーン・イニシアチブの代替方式として作成されました。ショッパーは、期限切れになるかまたは対象の商品購入と引き換えるまでクーポン・ウォレット内にクーポンを収集しておくことができます。

在庫管理

在庫サブシステム

在庫サブシステムは、WebSphere Commerce サーバーのコンポーネントの 1 つで、リアルタイムの在庫管理を行います。在庫サブシステムには、取引先から受け取った在庫と顧客から返品された在庫を記録する機能、在庫の数量を調整する機能、返品された在庫の後処理を決定する機能、および在庫の配送と受け取りを行う機能が備わっています。

特別在庫受け取り

特別在庫受け取りは、対応する予測在庫レコードないのに在庫が配送センターに到着したときに作成されます。これは、予期せずに在庫が到着したために生じたのかもしれませんが。あるいは、予測在庫レコードを使用して在庫受け取りを記録しないようにマーチャントまたはセラーが選択した可能性もあります。受け取る在庫が予測在庫か特別在庫かにかかわらず、商品を受け取るには、その商品が WebSphere Commerce システム内に存在している必要があります。

予測在庫

予測在庫は取引先から受け取り、一般に、購入注文と一緒に支払われます。WebSphere Commerce Accelerator は予測在庫レコードを使用して予測在庫をトラッキングし、またこれを使用することによって、外部 ID (通常は外部システムからの購入注文番号) を記録することができます。これにより簡単に、到着したものと到着していないもの、およびオーダーした在庫を把握していくことができます。

予測在庫レコードに対する在庫をいったん受け取ったら、予測在庫レコードを削除することはできません。また、予測在庫詳細の在庫を 1 つでも受け取ったら、予測在庫詳細を変更または削除することはできません。

配送センター内で使用可能な在庫に対してオーダーが発行された場合、オーダー・サブシステムは、それらのオーダーに在庫を割り振ります。在庫をオーダーに割り振ることにより、その在庫はオーダー・システムで使用できなくなります。オーダーがキャンセルされる場合、在庫は再び使用可能になります。

使用可能でない在庫に対してオーダーが発行される場合、バック・オーダーを作成できます。バック・オーダーを満たすために使用できる予測在庫がある場合は、予測在庫がバック・オーダーに割り振られ、顧客に配送予定日を通知することができます。

受け取る在庫が予測在庫か特別在庫かにかかわらず、商品を受け取るには、その商品が WebSphere Commerce システム内に存在している必要があります。

在庫調整

配送センターにある在庫量と WebSphere Commerce で記録された在庫量が同じではないときに在庫調整が行われます。このことが生じる理由は様々です。たとえば、配送センターにある商品が盗難されたり損傷を受けたりした場合には、使用可能在庫量は、その状態を反映するように調整されなければなりません。配送センター内の数を数えて、予想より商品の数が多い場合、これも記録する必要があります。

リリースと出荷

リリースとは、指定されたオーダーの中で、配送先住所、配送センター、および運送会社と同じである商品の集合のことです。単一のリリースは、同じ箱に入れることもできますが、複数の箱にすることもできます。複数の箱に分けるケースとして、リリースに壊れやすいものが含まれていたり大きすぎる場合、アイテムが配送指定先が別の場合、あるいはただ単に、リリースが 1 つの箱では収まりきらない場合などがあります。

WebSphere Commerce Accelerator ではリリースがそれぞれグループ分けされて、ピッキング・バッチを作成します。各ピッキング・バッチには、ピッキング・チケットが含まれます。これは、それらのリリースのオーダーを完了するために収集する必要のある商品のリストです。在庫が集められたら、商品は出荷用の箱に入れます。各リリースには、パッキング・スリップがあります。複数の箱に対してパッキング・スリップが 1 つしかない場合もあります。

各パッケージに関する情報は、パッケージの配送時に目録に記録されます。目録には、通常、顧客と共有するパッケージ・トラッキング情報が含まれます。

フルフィルメント

フルフィルメントとは、配送センターまたはウェアハウスで起きる在庫アクティビティーのことで、これにはピッキング、パッキング、および配送が含まれます。ピッキングとは、配送センターの 1 つまたは複数のリリースから商品を選択することです。パッキングとは、それらの商品を配送コンテナに入れることであり、配送とは、顧客宛てにそれらの商品を送ることです。一般に、配送センターには作業する人が同時に何人かいて、それぞれが別のタスクまたは実行すべきタスクを担当します。 WebSphere Commerce Accelerator は最も一般的なタスクを役割に分け、これらの役割がユーザーに割り当てられます。

商品は、商品ウィザードと商品ノートブックで、フルフィルメント用に構成されます。この機能には、在庫の追跡、バック・オーダーの許可、バック・オーダーの強制、リリースの分割、返品不能商品の指定を行うためのオプションが含まれています。

- 支払いの自動資金化
- ピッキング伝票、パッキング伝票、配送確認
- フルフィルメントに関する機能強化

オペレーション・レポート

在庫、フルフィルメント、およびストアの効率的な管理に役立つ 12 種類のオペレーション・レポートが用意されています。これらのレポートは、以下に挙げるような複数の役割を持つユーザーがアクセスできるように設計されています。

セラーとマーケティング・マネージャー

売上を増やすための他のビジネス上の決定に加え、業績と販売傾向を分析し、販売促進とキャンペーンについて決定します。

バイヤー、プロダクト・マネージャー、カテゴリー・マネージャー

在庫、予測在庫レコード、受領書、返品理由を追跡し、購入注文に関する決定を行います。

オペレーション・マネージャー

フルフィルメントの管理、受注からフルフィルメントまでのオーダーの管理、およびオーダーの確認がないオーダーの追跡を行います。

在庫返品と後処理

様々な理由のために、顧客から商品が配送センターに返品されることがあります。商品の品質やパフォーマンスに満足できなかったのかもしれませんが。あるいは商品に、法律的な欠陥があったのかもしれませんが。返品された在庫はオーダーに対して使用可能な在庫のプールに再び組み込まれたり、廃棄されたりします。このプロセスを後処理と言います。

商品の後処理が行われる間に、その商品が顧客から返品された理由に関するマーチャントまたはセラーからの情報に加えて、顧客から報告される情報も記録されます。その後で後処理が決定され、その決定の理由とともに記録されます。

ローダー・パッケージ

今回のリリースのローダー・パッケージは以下の新しいユーティリティーを含んでいます。

XML 変換プログラム

XML 変換プログラムは、XML ファイル内のデータを XML フォーマットに変更、集合、および再マップし、必要時に他のユーザーまたはシステムで使えるようにします。

エクストラクター

エクストラクターは、XML ファイル形式のデータの選択済みサブセットをデータベースからプルします。

マーケティング・サブシステム

マーケティング・キャンペーンのデプロイメント・プロセスが改善され、明示的な発行手順が不要になりました。さらに、サポートするスケジューリング方法の柔軟性が向上し、e-マーケティング・スポットに、キャンペーン・イニシアチブの動的コンテンツを含めることができます。

e-マーケティング・スポットは、複数タイプのイニシアチブの出力をサポートできるように機能が向上しました。たとえば、1 つの e-マーケティング・スポットを定義して、広告、商品、推奨商品、および電子クーポンを表示することができます。

顧客プロファイルは、アカウントと契約の情報を基にした目標となる基準を提供するように更新されました。

Commerce Integrator からのメッセージ拡張

このフィーチャーは、WebSphere Commerce を、大容量の調達システムのネットワークと統合するためのインターフェースを提供します。メッセージ拡張は、調達システムとの統合モードとして次の 2 つのモードをサポートします。

ローカル・カタログ・オーダー

サプライヤーは、調達システムのネットワーク上にカタログの複製を置くことができます。

PunchOut オーダー

サプライヤーは、WebSphere Commerce 内に 1 つのカタログを保持することができ、このカタログを使用して、調達システムのネットワークに参加することができます。

オーダー管理に関する機能強化

在庫のチェックと割り振り

WebSphere Commerce は、ATP 在庫 (予定可能在庫) フィーチャーをサポートします。顧客または顧客サービス担当者によってオーダーが発行されると、システムは、そのオーダーを完了するために在庫が使用できるかどうかを確認し、必要な商品をオーダーに割り振ります。オーダー用に選択された 1 つ以上の商品がすぐに使用できない場合には、次の 3 つの選択肢があります。

1. 在庫が補充されるまで待つから、オーダーを一括して出荷する。
2. オーダーを分割し、現在出荷可能な在庫品をただちに発送してから、不足の在庫が補充された時点で残りの商品を別個のオーダーとして発送する。
3. その商品をオーダーから除去する。

WebSphere Commerce Accelerator 内のオーダーの発行ウィザードを使用すると、商品の割り振り方法を指定できます。つまり、すべての商品が揃うまで待つからオーダーを配送するか、出荷できない商品をバック・オーダーするか、またはオーダーをキャンセルするかを指定できます。

配送予定日のあるバック・オーダーの作成

WebSphere Commerce Accelerator のオーダーの発行ウィザードとオーダーの変更ノートブックを使用すると、1 つのオーダーを 2 つの個別のオーダーに分割することができます。すなわち、現在出荷可能な商品を含む現在のオーダーと、後で出荷される商品を含むバック・オーダーに分割することができます。ウィザードまたはノートブックの「Product Availability」ページには、ストアが配送センターから在庫を受け取る予定日が表示されます。この日付を使用して、オーダーを分割するか、在庫が補充されるまで待つか、またはその商品をオーダーから除去するかを決定します。

分割されたオーダーの状況を追跡し、予測在庫の管理機能を向上させるするために、顧客サービス担当者は、ストアおよび個々の顧客のバック・オーダーのリストを表示することができます。

組織管理コンソール

Business 組織管理コンソールは、バイヤー側のインターフェースです。組織管理コンソールを使用すると、バイヤー管理者は、組織内のショッパーおよびそれらのショッパーによるオーダーを承認することができます。バイヤー管理者はさらに、バイヤーのメンバーにアクセス・レベルを割り当てることもできます。

Payment Manager

Payment Manager バージョン 3.1.2 には、オンラインの支払処理を容易にし、自動化する WebSphere Commerce のためのいくつかの新しい統合機能があります。そのようなフィーチャーには以下のものがあります。

- 既存のクレジット・カード・ベースのカセット (SET および VisaNet) の購入カードのサポート
- 管理者の名前に対する制約事項の撤去
- VisaNet 用カセットと BankServACH 用カセットに対応する追加のカセット・サポート
- 支払処理を自動化する新しいコマンド

商品管理

WebSphere Commerce Accelerator の商品管理ツールでは、さまざまなウィザードやノートブックを使用して、ストアのマスター・カタログ内の商品を管理することができます。

商品管理ツールは、以前のバージョンのカタログ・エディターに置き換わるツールです。現在の WebSphere Commerce Accelerator を使用して、次の作業を行うことができます。

商品 商品は、SKU のテンプレートとして機能します。SKU は、最終的に顧客に販売される個々のアイテムです。商品ウィザードを使用すると、カタログ内の新しい商品を作成したり、在庫の追跡やオーダー用の商品のバック・オーダーなどのフルフィルメント・オプションをカスタマイズしたりできます。

SKU 商品を作成したら、販売用商品取引の個々のオーダー可能アイテムを表すために SKU を作成する必要があります。特定の商品に関連付けられたすべての SKU は、同じ属性セットを公開し、属性値によって識別されます。新しい機能としては、すべての必要な商品の属性を作成した後で、SKU ウィザードを使用して SKU を作成する機能や、商品用の SKU を生成する機能などがあります。

カテゴリー

カテゴリーは、類似したプロパティを持つオブジェクトのグループで、カタログ・グループとも呼ばれます。これらのプロパティは、ストアが提供する商品やサービスを整理するために使用されます。カテゴリーの作成、検索、一覧表示、変更、および削除を行うことができます。商品や SKU は、さまざまな親カテゴリーや子カテゴリーの下に分類することができます。

属性 属性は、カラーやサイズなどのオンライン・ストア内の SKU のプロパティです。属性値は、特定のカラー (青や黄) やサイズ (M サイズ) などの属性のプロパティです。属性値は、SKU に割り当てる前に定義する必要があります。属性値は、対応する属性に暗黙的に関連付けられます。それぞれの使用可能な属性と属性値の組み合わせが、新しい SKU に対応します。属性と属性値を作成した後で、名前、説明、タイプ (テキスト、整数、または小数) などの情報を更新することができます。

価格設定

1 つまたは複数の通貨で示される商品または SKU の価格で、異なる数量区分

(たとえば、1 ～ 5 個まで、6 個以上など) に対応する価格設定などの一連の条件を伴います。価格を使用するには、この条件を満たす必要があります。商品または SKU に関連付けられた価格設定を作成、一覧表示、および変更することができます。

RFQ (Request for Quotation: 見積依頼)

Business WebSphere Commerce Business Edition では RFQ もサポートされます。RFQ は、特殊なアイテムまたは大量の購入についての価格見積もりを得るためにセラーの組織に送られます。セラー組織は、RFQ を受け取ると、RFQ 応答を作成します。RFQ 応答から直接オーダーを生成することができます。サイトの管理者は、受け取りから解決までの RFQ のフローを定義して決定する XML ファイルを使用して、サイトにおける RFQ サポートの処理方法を完全に制御することができます。

RMA 機能を含む返品とリファンド

購入に満足できなかった顧客の不満を緩和するために、マーチャントまたはセラーは、リファンドを提供することができます。このリファンドを使用して、代替商品の新規オーダーを行うことができます (これは、交換とは異なります。交換は現在サポートされていません)。システム設定は、適切なレベルのセキュリティーを使用してすべて指定変更可能です。このシステム設定によって、特定のアイテムがリファンド可能かどうか、元の商品取引を返品する必要があるかどうか、およびリファンドの金額を制御します。マーチャントまたはセラーが選択した場合は、セルフサービスのインターフェースを介して返品商品取引許可 (RMA) が発行される場合があります。そのためには、構成可能な自動承認メカニズムを使用するか、または顧客サービス担当者 (CSR) の支援を受けます。返品された商品は、受領後に、販売不能の印が付けられて廃棄される場合もあれば、別のオーダーに充当するために在庫に戻される場合もあります。

検索に関する機能強化

WebSphere Commerce は多くの検索方法を備えており、ユーザーや顧客に対して簡単に検索機能を提供することができます。以下の検索方法が提供されています。

カタログ検索

カタログ検索は、基本的な検索機能と高度な検索機能の両方を提供します。顧客は、これらの機能をサイトで使用することができます。

商品アドバイザー

商品アドバイザーは、顧客が自分のニーズに合った商品を見つけるために役立つインタラクティブなショッピング・ガイドを提供します。

WebSphere Commerce Accelerator ツール

WebSphere Commerce Accelerator は、商品またはカテゴリーの検索を統合するいくつかのツールを含んでいます。これらのツールは管理者の目標達成に役立ちます。このようなツールとしては、キャンペーン・ウィザード、商品管理ウィザード、および顧客プロファイル・ウィザードで使用できる商品検索機能などがあります。

セキュリティに関する機能強化

アカウント・ロックアウト

アカウント・ロックアウト・ポリシーは、アカウントに対して悪意を持った行為が実施された場合にアカウントを使用不能にすることで、その行為によってアカウントが損害を受ける危険性を軽減します。アカウント・ロックアウト・ポリシーは次のようなアイテムを統制します。

- アカウント・ロックアウトのしきい値。これは、不正ログオンが開始されてからアカウントを使用不可にするまでの不正ログオン試行回数です。
- 連続して失敗したログインの遅延。この場合、連続ログインの試行から次の試行までの時間が倍になります。
- アカウントがロックされてしまうと、WebSphere Commerce はサイト管理者とそのアカウントの所有者に通知を送り、そのユーザー・アカウントの状況を知らせます。

アクセス・ログ

アクセス・ログは、WebSphere Commerce サーバーに対するすべての受信要求を記録するか、または要求の結果としてアクセス違反になった要求だけを記録します。アクセス違反の例としては、認証の失敗、コマンドを実行する権限が不十分な場合、またはサイトのパスワードのルールに違反してパスワードをリセットした場合があります。このフィーチャーが有効になっている場合、WebSphere Commerce の管理者は、WebSphere Commerce システムのセキュリティを脅かすような行為をす早く見つけることができます。認証の失敗や許可の失敗などのイベントが発生すると、それらの情報がアクセス・ログ・ファイルのデータベース・テーブルに記録されます。

アカウント・ポリシー

アカウント・ポリシーは、パスワードやアカウント・ロックアウト・ポリシーなどのアカウント関連のポリシーを定義します。

クロス・サイト・スクリプト記述の防止

クロス・サイト・スクリプト記述の防止機能は、許可不能と指定された属性または特性を含むユーザー要求をすべて拒否します。構成マネージャーを使用して、拒否する属性と特性を指定することができます。

データベース更新ツール

特定の WebSphere Commerce インスタンスのデータベース内にあるすべての暗号化されたデータ (パスワードやクレジット・カード番号など) を更新するツールです。

パスワードの無効化

この機能は、WebSphere Commerce ユーザーに対して、パスワードが期限切れになった場合にパスワードを変更するように要求します。

パスワード・ポリシーの強制

このページでは、ユーザーによるパスワードの選択を制御し、サイトのセキュリティ・ポリシーに確実に従ったパスワードになるように、パスワードの特性を定義することができます。このフィーチャーは、パスワードが守らなければならない属性を定義します。パスワード・ポリシーは、次のような条件を規定します。

- ユーザー ID とパスワードを一致させられるかどうか。

- 連続文字の最大出現数。
- 任意の文字の最大インスタンス数。
- パスワードの最大存続期間。
- 英字の最小数。
- 数字の最小数。
- パスワードの最短長。
- 古いユーザー・パスワードの再利用の可否。

パスワードで保護されたコマンド

このフィーチャーが有効になっている場合、WebSphere Commerce にログオンしている登録済みユーザーが指定された WebSphere Commerce コマンドを実行する要求について続行する前に、パスワードの入力を要求できます。

ログイン・タイムアウト

このフィーチャーが有効になっている場合、長時間非アクティブ状態になっている WebSphere Commerce ユーザーは、システムからログオフされ、ログオンし直すように要求されます。その後ユーザーが正常にログオンすると、WebSphere Commerce は、そのユーザーが行っていた元の要求を実行します。ユーザーがログオンに失敗すると、元の要求は廃棄されて、そのユーザーはシステムからログオフされたままになります。

ストア・サービス

ストア・サービスの Web 資産ダイアログでは、ストア・アーカイブ内にある圧縮された Web 資産のアーカイブ・ファイルを別の Web 資産のセットに置き換えたり、既存の Web 資産を選択した場所にダウンロードしたりできます。

WebSphere Application Server 4.0.2

WebSphere Application Server 4.0.2 には以下のフィーチャーがあります。

Web サービス

SOAP、UDDI、WSDL、XML、および J2EE 1.2 (Java 2 Enterprise Edition プラットフォーム) 認証など、人気のある Web アプリケーション言語をサポートします。IBM TXSeries と IBM MQSeries の両方のための、堅固な統合およびトランザクション・テクノロジーが組み込まれています。

データベース・サポート

CORBA および ActiveX インターオペラビリティを持つ接続性、および拡張されたデータベース・サポートが採用されています。

プログラミング・モデルの拡張

Web サービスおよび J2EE プログラミング・モデルの拡張を使用して、変化していく e-business を管理します。

- クライアントの地域の時間帯、通貨、および言語に合わせるためのビジネス・ロジックにおける調整を含め、ご使用のアプリケーションの国際化対応を容易にします。
- ビジネス・ルール bean を使用すると、ビジネスのやり方の変化に対応した動的な更新が、コーディングなしで可能になります。

- 共用ワークエリアを使用すると、分散アプリケーションの一方の端から他方の端にいたるまで、動的な顧客情報を効率的に共用することができます。

パフォーマンスの向上

パフォーマンスの向上には、Enterprise Bean の動的再ロード、動的キャッシング (複数階層)、JNDI キャッシングなどが含まれます。

注: 現時点で WebSphere Commerce 5.4 では、これらのすべてのフィーチャーを活用するわけではありません。

WebSphere Commerce Analyzer の機能強化

WebSphere Commerce Analyzer との統合機能は、シングル・ログオンをサポートするように拡張されました。ユーザーは、WebSphere Commerce Accelerator にログオンした後に、続けて WebSphere Commerce Analyzer にログオンすることなしに、レポートを表示できるようになりました。

このソフトウェアはさらに、ユーザーの役割に基づいたレポート表示の制限をサポートするように拡張されました。これにより、どのレポートをどのユーザーが表示できるかを制御することができます。さらに、企業間取引の環境に焦点を当てた追加のレポートが組み込まれました。

HTTP 上での XML

HTTP 経由の XML 要求を処理する新しいプログラム・アダプターが追加されました。このプログラム・アダプターは、XML メッセージを PropertyCommand オブジェクトにマップします。このマッピング・メカニズムは外部化されているので、他の WebSphere Commerce コンポーネントは、このメカニズムを使用して、HTTP 経由の XML を内部的にサポートできるようになりました。

第 5 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規コマンド

新規コマンドは、URL コマンド、タスク・コマンド、ビュー・コマンドの 3 つの
カテゴリーに分類されます。以下に、コマンドのカテゴリーごとに新規コマンドの
リストを示します。 WebSphere Commerce の特定の新規コマンドの詳細について
は、オンライン・ヘルプを参照してください。

URL コマンド

ACCESSSPACECTRLCMD	MODIFYAUCTIONSTYLE
ACCOUNTIMPORTCMD	MODIFYBIDRULE
ADDMEMBERTOSPACECTRLCMD	OFFERADD
ADMINBIDDELETE	OFFERDELETE
ATTRIBUTEVALUEADD	OFFERUPDATE
ATTRIBUTEVALUEDELETE	ORDERITEMMOVE
ATTRIBUTEVALUEUPDATE	PATTRIBUTECREATE
AUTOBIDSUBMIT	PATTRIBUTEDELETE
BIDSUBMIT	PATTRIBUTESMODIFY
CATALOGADD	PRODUCTATTRIBUTEADD
CATALOGDELETE	PRODUCTATTRIBUTEDELETE
CATALOGENTRYADD	PRODUCTATTRIBUTEUPDATE
CATALOGENTRYDELETE	PRODUCTDISPLAY
CATALOGENTRYUPDATE	REMOVEMEMBERFROMSPACECTRLCMD
CATALOGGROUPADD	REQUISITIONLISTCOPY
CATALOGGROUPDELETE	REQUISITIONLISTCREATE
CATALOGGROUPUPDATE	REQUISITIONLISTDELETE
CATALOGUPDATE	REQUISITIONLISTDISPLAY
CATGROUPCATENTRYRELADD	REQUISITIONLISTITEMUPDATE
CATGROUPCATENTRYRELDELETE	REQUISITIONLISTSUBMIT
CATGROUPRELADD	REQUISITIONLISTUPDATE
CATGROUPRELDELETE	RESETPASSWORDADMINISTRATOR
CHANGESPACECTRLCMD	RETRIEVESHOPPINGCARTCMD
CHANGEUSERROLECTRLCMD	RETRIEVESHOPPERPROFILECMD
CLOSEBIDDING	RETURNCANCEL
CONTRACTDISPLAYCMD	RETURNDISPLAY
CONTRACTEXPORTCMD	RETURNITEMADD
CONTRACTIMPORTAPPROVEDVERSION	RETURNITEMDELETE
CONTRACTIMPORTDRAFTVERSION	RETURNITEMUPDATE
CONTRACTLISTASBUYER	RETURNLISTDISPLAY
CONTRACTSETINSESSION	RETURNPREPARE
CREATEAUCTION	RETURNPROCESS
CREATEAUCTIONSTYLE	RFQACTIVATEALLDUECMDIMPL
CREATEBIDRULE	RFQCANCELCMDIMPL
CREATEFORUMMESSAGE	RFQCLOSEALLEXPRIEDCMDIMPL
CREATESPACECTRLCMD	RFQCLOSECMDIMPL
DELETEAUCTION	RFQMARKFORDELETECMDIMPL
DELETEAUCTIONSTYLE	RFQRESPONSEACCEPTCMDIMPL
DELETEBIDRULE	RFQRESPONSEREJECTCMDIMPL
DELETESPACECTRLCMD	SCHEDULEDORDERPROCESS
DISPLAYAUCTIONRULES	SETINTERESTITEMLIST

DYNAMICKITCONFIGURATIONADD
EDITJOB
FINALIZEAUCTION
MODIFYAUCTION

STORECOLLABLISTDISPLAYCMD
STORECOLLABMEMBERSDISPLAYCMD
TOPCATALOGGROUPADD
TOPCATALOGGROUPDELETE

タスク・コマンド (A ~ C)

ACCEPTRFQRESPONSESCMD
ACCOUNTLOCKOUTPOLICYCMD
ACTGRPDELETETASKCMD
ACTIONACTGRPADDTASKCMD
ACTIVATEALLDUERFQSCMD
ADDCONTRACTNLDESCRIPTIONCMD
ADDEVENTCOMMAND
ADDORDERITEMCOMPONENTSCMD
ADJUSTINVENTORYRESERVATIONCMD
ALLOCATEEXISTINGINVENTORYCMD
ALLOCATEEXPECTEDINVENTORYCMD
ALLOCATEINVENTORYCMD
APPLYCALCULATIONUSAGESCMD
APPLYCOUPONUSAGECMD
APPLYSHIPPINGCMD
APPROVEREFUNDPOLICYCMD
APPROVERETURNITEMCMD
AUCTIONTASKBASECMD
AUTHORIZEACCOUNTPAYMENTCMD
AUTOAPPROVERETURNITEMCMD
AUTOAPPROVERETURNITEMPOLICYCMD
AUTOAPPROVERETURNITEMSTANDARDCHECKSCMD
BUSINESSPOLICYCOMMAND
CALCULATECONTRACTPRICESCMD
CALCULATEDISCOUNTAMTCMD
CALCULATERETURNADJUSTMENTPOLICYCMD
CALCULATERETURNITEMADJUSTMENTCREDITCMD
CALCULATERETURNITEMADJUSTMENTPOLICYCMD
CALCULATERETURNITEMCREDITCMD
CALCULATERETURNITEMCREDITFORCATENTRYCMD
CALCULATERETURNITEMPRODUCTCREDITCMD
CALCULATERETURNTAXCMD
CALCULATERMAAPPROVALCMD
CALCULATIONCMD
CALCULATIONCODEAPPLYCMD
CALCULATIONCODECALCULATECMD
CALCULATIONCODECOMBINECMD
CALCULATIONCODEQUALIFYCMD
CALCULATIONRANGECMD
CALCULATIONRULECALCULATECMD
CALCULATIONRULECOMBINECMD
CALCULATIONRULEQUALIFYCMD
CALCULATIONSCALELOOKUPCMD
CAMPAIGNCOLLATERALCREATECMD
CAMPAIGNCOLLATERALDELETECMD
CAMPAIGNCOLLATERALUPDATECMD

CAMPAIGNINITIATIVESCHEDULEDELETECMD
CAMPAIGNINITIATIVESCHEDULEUPDATECMD
CAMPAIGNINITIATIVEUPDATECMD
CAMPAIGNUPDATECMD
CANCELRFQCMD
CHANGEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND
CHECKACCOUNTPAYMENTCMD
CHECKAPPLICABILITYCMD
CHECKFORWORKCMD
CHECKINVENTORYAVAILABILITYCMD
CHECKORDERACCEPTANCECMD
CHECKPAYMENTACCEPTCMD
CHECKPAYMENTACCEPTPOLICYCMD
CHECKPOSPENDINGLIMITCMD
CHECKRETURNITEMINCORRECTSTATECMD
CHECKRMAITEMEXPIRATIONCMD
CHECKSHIPPINGMODESCMD
CHECKSHIPPINGTERMSANDCONDITIONSCMD
CHECKTASPPENDINGLIMITCMD
CHECKVALIDITYCMD
CLICKEVENTUPDATECOMMAND
CLOSEALLEXPRIREDRFQSCMD
CLOSEAUCTIONCMD
CLOSECONTRACTCMD
CLOSERETURNCMD
CLOSERFQCMD
CONFIGURERULESERVERCOMMAND
COPYCONTRACTCMD
COPYRFQCMD
COUPONDSSTASKCMD
CREATEACCOUNTCMD
CREATEAUCTIONTASKCMD
CREATECONTRACTBASICINFOCMD
CREATECONTRACTCMD
CREATECOUPONDISCOUNTCMD
CREATEDISCOUNTCMD
CREATEORDERCOMMENTS TCCMD
CREATEORDERITEMPATRIBUTE TCCMD
CREATEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND
CREATERECEIPTCMD
CREATERESPONSEBASICINFOCMD
CREATERETURNCHARGE TCCMD
CREATERETURNPAYMENT TCCMD
CREATERFQATTACHMENTCMD
CREATERFQBASICINFOCMD
CREATERFQCATENTRYRELCMD

CAMPAIGNCREATECMD
CAMPAIGNDELETECMD
CAMPAIGNEMSCREATECMD
CAMPAIGNEMSDELETECMD
CAMPAIGNEMSUPDATECMD
CAMPAIGNINITIATIVECREATECMD
CAMPAIGNINITIATIVEDELETECMD
CAMPAIGNINITIATIVEDISABLECMD
CAMPAIGNINITIATIVEEVALUATECMD
CAMPAIGNINITIATIVESCHEDULEADDCMD

CREATERFQITEMATTRIBUTECMD
CREATERFQITEMCMD
CREATESHIPPINGCHARGECCMD
CREATESTOREADDRESSCMD
CREDITACCOUNTCMD
CREDITRETURNITEMCMD
CSRDISPLAYREFUNDPAYMENTINFOCMD
CSRGUESTCUSTOMERADDCMD
CSROORDERCOMMENTSNOTIFYCMD
CSROORDERSTATUSCHANGECMD

タスク・コマンド (D ~ L)

DEALLOCATEEXISTINGINVENTORYCMD
DEALLOCATEEXPECTEDINVENTORYCMD
DEBITACCOUNTCMD
DELETEAUCTIONTASKCMD
DELETEORDERCOMMENTSCCMD
DELETEORDERITEMPATRIBUTECCMD
DELETERFQATTACHMENTCMD
DELETERFQCATENTRYRELCMD
DEPLOYCONTRACTCMD
DEPLOYPRICECCMD
DEPLOYCCMD
DETERMINERETURNCREDITVEHICLECMD
DISABLEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND
DISCOUNTCALCULATIONCODEAPPLYCMD
DISCOUNTCALCULATIONCODEAPPLYCMD
DISCOUNTCALCULATIONRULEQUALIFYCMD
DISCOUNTCALCULATIONRULEQUALIFYCMD
DOCANCELCMD
DOCANCELPOLICYCMD
DODEPOSITCMD
DODEPOSITPOLICYCMD
DOPAYMENTMPFINTERNALCMD
DOPAYMENTPOLICYCMD
DOREFUNDCMD
DOREFUNDPOLICYCMD
ENABLEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND
EXTENDADMINRETURNAPPROVECMD
EXTENDRETURNCREDITANDCLOSESCANCMD
EXTENDRETURNPREPARECMD

FINALIZECALCULATIONUSAGECMD
FINALIZECOUPONUSAGECMD
FIXEDAMOUNTCALCULATIONRANGECMD
FIXEDAMOUNTCALCULATIONRANGECMD
FORWARDPAYMENTSUMMARYCMD
GENERATEPICKBATCHCMD
GENERATESALTCMD
GENERICINVENTORYADJUSTCMD
GENERICINVENTORYRESERVECMD
GETCONTRACTSPECIALPRICECMD
GETCONTRACTUNITPRICECMD
GETDYNAMICKITCONFIGURATIONDEFINITIONCMD
GETELIGIBLEFULFILLMENTCENTERSCMD
GETORDERLEVELPARAMETERCMD
GETORDERPRODUCTTOTALCMD
GETPRODUCTCONTRACTUNITPRICECMD
GETRETURNSAXESCMD
GETSUBORDERPRODUCTTOTALCMD
INITIALIZEADJUSTMENTCMD
INITIALIZECALCULATIONUSAGECMD
INITIALIZECOUPONUSAGECMD
INITIALIZESALESTAXCMD
INITIALIZESHIPPINGCMD
INITIALIZESHIPPINGTAXCMD
INVOKEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND
LISTBUSINESSORGENITYCMD
LISTFULFILLMENTCENTERSCMD
LOGRETURNAUTHCMD

タスク・コマンド (M ~ P)

MAKERECEIPTAVAILABLECMD
MARKETINGEVENTUPDATECOMMAND
MARKPERSONALIZATIONRULESERVICECHANGEDCOMMAND
MARKRFQFORDELETECMD
MODIFYAUCTIONTASKCMD
MODIFYORDERCOMMENTSCCMD
MODIFYORDERITEMPATRIBUTECCMD

POPULATEJUSTINTIMESEVICEMANAGERCOMMAND
POSTADDRESSADD
POSTADDRESSCHECKCMD
POSTADDRESSDELETECMD
POSTADDRESSUPDATECMD
POSTMEMBERROLEASSIGNCMD
POSTMEMBERROLEUNASSIGNCMD

MODIFYRFQATTACHMENTCMD	POSTORGEN ENTITYADD CMD
MODIFYRFQBASICINFOCMD	POSTORGEN ENTITYUPDATECMD
MODIFYRFQCATENTRYRELCMD	POSTROLEADD CMD
NDPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD	POSTUSERREGISTRATIONADD CMD
NETPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD	POSTUSERREGISTRATIONADMINADD CMD
NETPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD	POSTUSERREGISTRATIONADMINUPDATECMD
NETPRICEWITHQUANTITYASRESULTMULTIPLIERCALCULATIONSCALELOOKUPCMD	
NETSHIPPINGCALCULATIONSCALELOOKUPCMD	POSTUSERREGISTRATIONUPDATECMD
NETSHIPPINGCALCULATIONSCALELOOKUPCMD	PREADDRESSADD CMD
NONDISCOUNTEDPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD	PREADDRESSCHECKCMD
NOTIFYAUCTIONBASECMD	PREADDRESSDELETECMD
NOTIFYBIDOVERRIDECMD	PREADDRESSUPDATECMD
NOTIFYCLOSEAUCTIONCMD	PREMEMBERROLEASSIGNCMD
NOTIFYCMD	PREMEMBERROLEUNASSIGNCMD
NOTIFYCOMPLETEORDERCMD	PREORGEN ENTITYADD CMD
NOTIFYCREATEAUCTIONCMD	PREORGEN ENTITYUPDATECMD
NOTIFYMODIFYAUCTION	PREPAREINVOICECMD
NOTIFYMODIFYAUCTIONCMD	PREPAREORDERCMD
NOTIFYRFQRESPONSECMD	PREROLEADD CMD
NOTIFYSTARTAUCTION	PREUSERREGISTRATIONADD CMD
NOTIFYSTARTAUCTIONCMD	PREUSERREGISTRATIONADMINADD CMD
ORDERMESSAGINGCMD	PREUSERREGISTRATIONADMINUPDATECMD
PAYMENTMANAGERVERIFYCREDENTIALSCMD	PREUSERREGISTRATIONUPDATECMD
PERCENTAGECALCULATIONRANGECMD	PROCESSORDERCMD
PERSISTORDERSWITHMEMBERGROUPIDSFORCURRENTUSERCMD	PROCESSPARENTMEMBERCMD
PERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND	PROCESSPROFILETYPECMD
PERSONALIZATIONRULESERVICEDETAILSCOMMAND	PROCESSREQUESTPROPERTIESCMD
PERUNITAMOUNTCALCULATIONRANGECMD	PRODUCTPRICINGCMD
POLICYDELETETASKCMD	PUBLISHCUSTOMPRICELISTCMD

タスク・コマンド (Q ~ Z)

QUANTITYCALCULATIONSCALELOOKUPCMD	SHIPPINGCALCULATIONRULEQUALIFYCMD
QUANTITYSPREADBYNETPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD	SHIPPINGTAXCALCULATIONCODEAPPLYCMD
REFRESHEXPIREDRMAITEMSCMD	STARTAUCTIONCMD
REFUNDPAYMENTPOLICYCMD	SUMMARIZEADJUSTMENTCMD
REJECTRFQRESPONSESCMD	SUMMARIZECALCULATIONUSAGECMD
RELEASESHIPNOTIFYCMD	SUMMARIZECOUPONUSAGECMD
REMOVEPERSONALIZATIONRULESERVICECOMMAND	SUMMARIZESALESTAXCMD
REPREPAREEXPIREDRMACMD	SUMMARIZESHIPPINGCMD
REPREPAREORDERCMD	SUMMARIZESHIPPINGTAXCMD
RESCGRYRESGRPADDTASKCMD	TAXABLENETPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD
RESERVEINVENTORYCMD	TAXABLENETPRICEPLUSNETSHIPPINGCALCULATIONSCALELOOKUPCMD
RESGRPDELETETASKCMD	TAXABLEUNITPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD
RESGRPIMPLICITADDTASKCMD	TAXABLEUNITPRICEPLUSUNITSHIPPINGCALCULATIONSCALELOOKUPCMD
RESGRPIMPLICITUPDATETASKCMD	TAXCALCULATIONCODEAPPLYCMD
RESOLVEJURISDICTIONSCMD	TAXCALCULATIONCODECOMBINECMD
RESOLVERETURNFULFILLMENTCENTERCMD	TAXCALCULATIONRULECALCULATECMD
RESOLVESHIPPINGJURISDICTIONSCMD	TAXCALCULATIONRULEQUALIFYCMD
RESOLVETAXJURISDICTIONSCMD	TAXORDERCMD
RESPONDATTRIBUTECCMD	TAXORDERITEMCMD
RESPONDPRODUCTPQCMD	UNITPRICECALCULATIONSCALELOOKUPCMD
RESPONDRFQLEVELCOMMENTSCCMD	UNITSHIPPINGCALCULATIONSCALELOOKUPCMD

RETURNITEMTOINVENTORYCMD
RFQRESPONSECHANGESTATECMD
RFQRESPONSEMODIFYBASEINFOCMD
RFQRESPONSEMODIFYORDERCOMMENTS^{TCC}CMD
RFQRESPONSEMODIFYORDERITEM^{ATTRIBUTE}^{TCC}CMD
SALESTAXCALCULATIONCODE^{APPLY}CMD
SEGMENTCONSTRAINTLISTCMD
SELECTCONTRACTPRICESCMD
SETBUSINESSENTITYCMD
SETORDERLEVELPARAMETERCMD
SETORDERORGANIZATIONCMD
SHIPPINGCALCULATIONCODE^{APPLY}CMD

UPDATEACCOUNTCMD
UPDATECONTRACTCMD
UPDATEPERSONALIZATIONRULESERVICESTATUSCOMMAND
UPDATEPOSPENDINGCMD
UPDATERELEASEMANIFESTSTATUSCMD
UPDATESTOREADDRESSCMD
UPDATETADEPOSITRECORDSCMD
UPDATETAREFUNDCMD
UPDATETASpendingCMD
USECOUPONIDTASKCMD
USERREGISTRATIONROLEASSIGNCMD
VALIDATEBUSINESSPOLICYINCONTRACTFORSTORECMD

ビュー・コマンド

PROTECTABLE
INDIRECTVIEWCOMMAND
TOOLSFORWARDVIEWCOMMAND

第 6 章 WebSphere Commerce 5.4 における新規および変更されたデータベース・テーブル

以下のテーブルは、WebSphere Commerce 5.4 の新規データベース・テーブルです。各テーブルの詳細な説明および使用方法については、WebSphere Commerce のオンライン・ヘルプを参照してください。

テーブル名	説明
ACACGPDESC	ACTIONGRP テーブル用のロケール依存情報を保管します。
ACACTACTGP	アクションとアクション・グループの間の関連付けを取り込みます。特定のアクションについて、そのアクションに関連付けられているすべてのアクションを見つけることができます。
ACACTDESC	ACTION テーブル用のロケール依存情報を保管します。
ACACTGRP	システム内のすべてのアクション・グループを保管します。UBF の場合は、このテーブルに保護用の名前が付けられます。
ACACTION	システム内のすべてのアクションをリストします。一般的に、アクションはシステム内のコマンドにマップされます。しかし、UBF トランザクションや任意の Java スtring をアクションとして使用する場合があります。
ACATTR	このテーブルは、リソースの属性のマスター・リストです。
ACATTRDESC	RESATTR テーブルに対応するロケール依存情報を保管します。
ACCLOGMAIN	アクセス違反に関する方法を含みます。アクセス違反が発生した場合にのみエントリーが作成されます。作成されるエントリーは、要求ごとに 1 つだけです。詳細は、ACCSUB テーブルにあります。
ACCSUB	このテーブルには、アクセス違反を起こした要求の詳細が含まれます。エントリーは ACCLOGMAIN テーブルにリンクされています。
ACCOUNT	このテーブルの各行は、バイヤー組織とセラー組織の間のビジネス・アカウントを表します。ビジネス・アカウントを使用すると、さまざまな取引上の合意を編成したり、特別な取引条件を指定したりできます。
ACORGPOL	組織が組織レベルで 1 つ以上のテンプレート組織ポリシーを更新または削除した場合にそのことを記録します。
ACPOLDESC	POLICY テーブル用のロケール依存情報を保管します。
ACPOLICY	システム内のすべてのアクセス制御ポリシーを保管します。各ポリシーはポリシー・テーブル内の 1 つの行です。
ACRELATION	システム内に存在するすべての関係のリストです。
ACRELDESC	関係に関するロケール依存情報を保管します。
ACRESACT	リソースとアクションの間の関係を取り込みます。特定のリソースについて、関連付けられたアクションをこのテーブルで調べることができます。
ACRESATREL	特定のリソースの属性を保管します。属性はリソースごとに暗黙的にグループ化できます。GUI で、リソース・グループを定義する場合、および事前フィルター用の SQL を生成する場合には、属性に関するメタデータ情報が使用されます。
ACRESCGRY	システム内のすべてのリソースに関するメタデータ情報を保管します。
ACRESGPDES	ACRESGP テーブル用のロケール依存情報を保管します。

テーブル名	説明
ACRESGRP	システム内のすべてのリソース・グループを保管します。条件列には、リソースのグループ化に使用される制約と属性値のペアを含む XML 文書が保管されます。
ACRESMEMRL	さまざまなリソース・カテゴリーに属するリソースのリソース・メンバーの関係を保管することができます。
ACRESPRIM	リソースの主要なリソース列名を保管します。
ACRESREL	リソースと関係の間の関係を保管します。特定のリソースについて、そのリソースが持つことができる関係と、さまざまな関係が保管されているテーブルと列を調べることができます。
ACRSCGDES	リソース・カテゴリーの NL 表示名を保管します。
APRVSTATUS	承認要求とその状況を保管します。承認を待機している各アクションごとに複数行、すべての潜在的な approver に対して 1 行が含まれます。各エントリは approver、エンティティ・タブレットごとに固有です。FlowType_Id は、承認を保留している EntityId のタイプを示します。
ATTACHMENT	このテーブルは、添付事項に関する情報を含んでいます。
ATTACHUSG	添付事項の使用状況のテーブルです。
AUCPAYINFO	IBM 内部使用のために予約済み。
BASEITEM	基本アイテムは、共通の名前と説明を持つ一般的な商品のファミリーを表します。基本アイテムは、フルフィルメントでのみ使用されます。カタログ内の商品を表す各カタログ・エントリは、フルフィルメントのために、対応する基本アイテムを持ちます。
BASEITMDSC	基本アイテムに関する言語依存情報を保管します。
BKORDALLOC	バック・オーダーされたオーダー・アイテムの必要な数量、およびそれらに割り振られた使用可能な在庫の数量に関する情報を保管します。
BKORDITEM	バック・オーダーされたオーダー・アイテムの配送予定日を保管します。
BUYERPO	アカウントのバイヤー組織が定義したかまたはセラー組織との取引に使用した購入注文番号を保管します。この番号は、アカウント内でのみ一意です。
BUYERPOTYP	サイトにおけるさまざまなバイヤーの購入注文のタイプを定義します。
BUYSUPMAP	調達システムを使用するバイヤー組織をサプライヤー組織に登録します。
BUYSUPSEC	IBM 内部使用のために予約済み。
BZSRVCFG	ルール・サーバーの構成データを含んでいます。各行はルール・サーバーを表します。
BZSVCCFG	ルール・サービスの構成データを含んでいます。各行は、サービスが所属するルール・サーバーを含め、ルール・サービス構成を表します。
BZSVCSTA	最後に認識されたルール・サービスの状況を示します。各行は、ルール・サービスのアプリケーションの複製が報告する状況を表します。
CALCODEMGP	CalculationCodeQualifyMethod では、このテーブルの行を使用して、CalculationCode の使用を特定の MemberGroups のメンバーに限定することができます。
CHKCMD	スケジュール済みジョブの実行が必要かどうかを決定するために、ストアが使用できるチェック・コマンド。これは、管理コンソールのスケジューラー・メニュー用です。
CATCLSFCOD	ClassificationCodes の CatalogEntries への割り当てを保管します。
CATCONFINF	Configurable Products (構成可能な商品) を表す CatalogEntries の追加情報を保管します。この情報は、この CatalogEntry を構成するために、外部コンフィギュレーターが必要な場合があります。

テーブル名	説明
CATEGORY	この要約テーブルは、CatalogGroups (または Categories) をそれらの内部にある CatalogEntries に関連付けます。このテーブルは、定義の基となる CATGPENREL テーブルと CATENTREL テーブル内に存在するデータを基にして事前に計算された結果を含んでいます。
CATGRPPS	このテーブルは、CatalogGroups を ProductSets に関連付けます。この CatalogGroup のカタログ・サブツリーの下すべての CatalogEntry は、指定された ProductSet のメンバーです。
CATGRPTPC	IBM 内部使用のために予約済み。
CHARGETYPE	商品を対象としないトランザクションに対して適用された料金またはクレジットです。例として、急送処理費、カスタマイズ費用、在庫補充費などがあります。
CHKARRANG	定義済みストア・コマンド (SCHCMD) を、定義済みチェック・コマンド (CHKCMD) に関連付けます。
CHRGTYPDSC	このテーブルは、Charge Type (料金タイプ) に関する言語依存情報を含んでいます。
CLASIFCODE	このテーブルには、CatalogEntries に割り当て可能な、異なる種別ドメイン (UNSPSC、SPSC など) の下のすべての可能な商品種別コードが入っています。
CLSFCODEDS	このテーブルには、商品種別コードの言語特定情報が入っています。
CNTRDISPLY	契約の表示テーブルです。
CNTRNAME	契約管理における強制的なシリアライゼーションに使用される契約名のテーブルです。
CPITMAP	このテーブルは特定の (完了済み) オーダーの、選択されたクーポン・セットに適用可能なすべてのアイテムを保管します。
CPOFFER	このテーブルは、顧客のオファー・リスト内で顧客に表示可能な販売促進を含んでいます。
CPPMN	このテーブルは、販売促進の内容の詳細情報と、その購入、適用、割引の条件への参照を提供します。
CPPMNDESC	このテーブルは、販売促進に関する言語依存情報を含んでいます。
CPPMNDISC	このテーブルは、販売促進の割引条件を含んでいます。すべてのクーポンは、正確に 1 つの計算コードを使用します。
CPPMNORD	このテーブルは、このクーポンを適用するための、ショッピング・カートでの最低購入金額を含んでいます。
CPPMNPROD	このテーブルは、販売促進の購入条件を含んでいます。CPPMN テーブル内の購入条件のタイプが、“P” の場合は、このクーポンを引き換えるためのすべてのアイテムを調べるためにこのテーブルが使用されます。
CPPMNVAL	このテーブルは、拡張された販売促進の適用条件を含んでいます。このテーブルは、現在は使用されていません。このテーブルは、将来的に追加の機能を提供するために用意されています。
CPWALLET	このテーブルは、ユーザーが受け取ったクーポンを含んでいます。
CREDITLINE	このテーブルの各行は、アカウント所有者 (バイヤー組織) が、セラー組織と共に持つクレジット行を表します。このクレジット行は、特定のビジネス・アカウントと関連します。
DISTARRANG	このテーブルの各行は、ストアの在庫をストアで販売できるようにする DistributionArrangement を表します。
EMSPOT	このテーブルには登録済み e-マーケティング・スポットが含まれます。
ENUMDESC	このテーブルは、Catalog Manager Web Editor で使用される列挙の言語特定の説明を含んでいます。

テーブル名	説明
FLCOMPOSE	特定のマルチ・ステージ・フローについて、フローのリストとシーケンスを含んでいます。たとえば、CompositeFlow_Id が 201 で、フロー・タイプのシーケンスが 101-102-103 のマルチ・ステージ・フローに対しては、(201, 101, 0)、(201, 102, 1)、(201, 103, 2) の 3 つのエントリーがあります。
FLDOMNDESC	このテーブルは、NLV のフロー・ドメインの説明を含んでいます。
FLINSTANCE	このテーブルは、すべてのランタイム・フロー・インスタンスのデータを含んでいます。このテーブルは、1 次キーの組み合わせ (FlowType_Id と Entity_Id) を含んでいます。Entity_Id は、UBF が管理するビジネス・オブジェクトの参照 ID です。
FLOW	このテーブルは、各フロー・タイプのフローを含んでいます。フローは、ビジネス・プロセスの状態マシンを表し、ビジネス・フロー階層内ではフロー・タイプの 1 レベル下になります。例として、FastRFQRequest、OneLevelApprovalRFQRequest などがあります。
FLOWADMIN	組織のメンバーが特定の市場で使用できるフローのリストを含んでいます。これは、組織単位の管理者によってセットアップされます。
FLOWDESC	このテーブルは、NLV のフローの説明を含んでいます。
FLOWDOMAIN	このテーブルは、市場内で定義されたフロー・ドメインのリストを含んでいます。フロー・ドメインは、ビジネス・フロー階層の最上位レベルです。フロー・ドメインの例としては、オークション、RFQ、オーダー、登録などがあります。
FLOWTYPE	このテーブルは、各フロー・ドメインのフロー・タイプを含んでいます。フロー・タイプは、ビジネス・フロー階層内でフロー・ドメインの 1 レベル下になります。フロー・ドメイン RFQ のフロー・タイプの例としては、RFQ 要求や RFQ 応答などがあります。
FLSTATEDCT	これは、状態ディクショナリーです。状態は、フロー・タイプに固有です。UBF を使用する (特定のフロー・タイプの) アプリケーションのエンティティ・テーブル内には、状態情報 (ID) を保管する INTEGER データ型の列が含まれていると考えられます。
FLSTATEGP	これは、状態グループ・ディクショナリーです。これは、フロー・タイプ内で一意です。状態グループは、意味的に類似した複数の状態をグループにまとめるために役立ちます。また、クエリー内のすべての状態をハード・コーディングせずに、類似した状態のアイテムのリストを取得する場合にも役立ちます。
FLSTATEREL	状態とフローの関係を表します。特定のフロー・タイプの下に定義された状態は、そのフロー・タイプに属する複数のフローによって共有されます。このテーブルを使用すると、フロー独自の入力アクション、出力アクション、および応答ビューを使用してフローの状態をカスタマイズすることができます。
FLSTDCTDSC	このテーブルは、NLV の状態の説明を含んでいます。
FLSTGPDSC	このテーブルは、NLV のフローの状態グループを含んでいます。
FLTRANSDSC	このテーブルは、NLV のトランザクションの説明を含んでいます。
FLTRANSITN	このテーブルは、特定のフローのトランザクションのリストを含んでいます。トランザクションは、sourceState、targetState、eventIdentifier、アクションを含んでいます。トランザクションはフロー内で一意です。
FLTYPEDESC	このテーブルは、NLV のフロー・タイプの説明を含んでいます。
HISTOATTR	このテーブルは、ヒストグラムを作成するために使用される各属性に関する情報を保管します。
HISTOFREQ	このテーブルは、ヒストグラムの頻度配列を保管します。
HISTONVP	このテーブルは、役に立つヒストグラムの NVP (Name-Value-Pairs : 名前付き値ペア) をいくつか保管します。

テーブル名	説明
INTVSCHEM	このテーブルは、e-マーケティング・スポットにおけるイニシアチブのスケジュールリングを説明します。
INVADJCODE	このテーブルの各行は、Store または StoreGroup 内の Stores の InventoryAdjustmentCode を定義します。各コードは、broken (破損)、lost (消失)、found (検出済み) など InventoryAdjustment の理由を表します。
INVADJDESC	このテーブルの各行は、InventoryAdjustmentCode に関する言語依存情報を含んでいます。
INVADJUST	受け取りレベルで在庫に対して行われた調整を記録します。
INVITMVW	これは、RECEIPT テーブルおよび ITEMFFMCTR テーブルから抽出されたビューです。このビューは、1 つのアイテムに関して、すべての Stores と FulfillmentCenters にわたって利用可能な既存の数量を含んでいます。
INVOICE	このテーブルは、オーダー・リリース用に生成される送り状 XML を保管します。オーダー・リリースは、ORDRELEASE テーブル内の行によって表されます。
INVRESERVE	各行は、オークションなどの目的のために予約されている既存の在庫に関する情報を含んでいます。この予約された在庫は、予約が取り消されるまで、顧客のオーダーに利用できません。
INVRSRVDSC	各行は、ユーザーが定義した在庫予約のタイプに関する言語依存情報を含んでいます。
INVRSRVTYP	各行は、在庫を予約するときに使用できるユーザー定義による予約タイプを含んでいます。
INVSTFFMVW	これは、RECEIPT テーブルおよび ITEMFFMCTR テーブルから抽出されたビューです。このビューは、1 つのアイテムに関して、1 つの Store と FulfillmentCenter で利用可能な既存の数量を含んでいます。
INVSTVW	これは、RECEIPT テーブルおよび ITEMFFMCTR テーブルから抽出されたビューです。このビューは、1 つのアイテムに関して、特定のストアのすべての FulfillmentCenters にわたって利用可能な既存の数量を含んでいます。
ITEMFFMCTR	各行は、ストアが配送センターで所有しているアイテムに関する予約済みの数量、バック・オーダーの数量、およびバック・オーダーに割り振り済みの数量の数量の情報を含んでいます。
ITEMSPC	指定アイテムに関する情報です。指定アイテムは、すべての属性値を含む商品です。指定アイテムは、たとえば 2% の脂肪分を含む 2 リットル・ボトル入りの牛乳に対応します。指定アイテムは、マーチャントの販売品を顧客のビューで見たいものです。
ITEMTYPE	このテーブルの各行は、BaseItem のタイプを表します。
ITEMVERSN	このテーブルの各行は、BaseItem の ItemVersion を表します。BaseItem の現在の ItemVersion は、期限切れになっていない中で最も早い有効期限を持つ ItemVersion です。
LMEVENTMAP	LikeMinds イベント情報。この情報は、LikeMinds サーバー・データベースにも保管されます。
LMSERVER	このテーブルには、LikeMinds サーバー情報が保持されます。
LPOPURAMT	このテーブルは、購入注文番号およびオーダーによって、購入金額を追跡するのに使用されます。エントリーは、限定購入注文 (PO) 番号に対するオーダーにのみ作成されます。
MANIFEST	オーダー・リリースに対して生成された各目録 (パッケージ) ごとに 1 つのレコードが存在します。したがって、リリースに 5 個のボックスが含まれる場合は、5 つのレコードが存在します。
MBRATTR	このテーブルは、メンバーの属性定義ディクショナリーを含んでいます。

テーブル名	説明
MBRATTRVAL	このテーブルは、メンバー用の MBRATTR テーブル内に定義された属性の値を保管します。
MBRGRPCOND	このテーブルは、暗黙的な memberGroup の条件を保管します。
MBRREL	ユーザー間および orgEntities 間のメンバーシップ階層の関係を保管します。memberGroup は、メンバーシップ階層には含まれません。
MBRROLE	このテーブルは、メンバーの役割の割り当てを保管します。各メンバーは、WebSphere Commerce システム内で 1 つ以上の役割を果たすことができます。メンバーに役割を割り当てるときに、メンバーがその役割を果たす対象の orgEntity も指定することができます。
MLTIME	このテーブルは、現在のタイム・スタンプの登録として、MassLoader コンポーネントによって使用されます。
NUMBRUSG	各行は、NumberUsage オブジェクトを定義します。数量や金額などの数について、関連付けられた NumberUsage オブジェクトに応じて、それぞれ異なる丸めやフォーマットを行うことができます。この情報は、CurrencyManager と QuantityManager にキャッシュされます。
NUMBRUSGDS	このテーブルの各行は、NumberUsage の言語依存情報を含んでいます。
OICOMPLIST	各行には、特定の OrderItem 用に定義されたとおりの、DynamicKit の内容についての情報が含まれます。
OPERATOR	このテーブルは、演算子を定義するために使用されます。
OPERATRDSC	このテーブルは、演算子に関する言語依存情報を保持します。
ORCPMAP	このテーブルは、特定の (完了済み) オーダーで使用された eCoupons に関する情報を保管します。
ORDCALCD	このテーブルの各行は、CalculationCodeCombineMethod に対して、ORDERITEMS.PREPAREFLAGS 内の directCalculationCodeAttachment フラグが 1 になっている Order 内のすべての OrderItems に CalculationCode が直接付加されていることを示します。
ORDCHNLTYP	IBM 内部使用のために予約済み。
ORDERMGP	このテーブルは、オーダーが関連付けられている顧客プロフィールを追跡するために使用されます。
ORDIMEEXTN	このテーブルは、調達システムに固有な OrderItem 情報を含んでいます。
ORDIPROF	IBM 内部使用のために予約済み。
ORDITRD	このテーブルの各行は、OrderItem の価格を取得するために検索された TradingAgreement を示します。これらの行は、OrderItemAdd コマンドと OrderItemUpdate コマンドによって作成されます。
ORDMEEXTN	このテーブルは、調達システムに固有のオーダー情報を含んでいます。
ORDPICKHST	利用可能な在庫をオーダー・アイテムに割り振ったときに、受け取りレベルから在庫をピックアップした方法の詳細です。
ORDRELEASE	このテーブル内の各行は OrderRelease を表します。OrderRelease は、同じ配送センターから同じ配送モードを使用して同時に同じ住所に配送されるオーダー内のすべての OrderItems をグループ化したものです。
ORDSHIPHST	各行は、OrderItem のフルフィルメント用にリリースされた在庫に関する情報を含んでいます。
ORGCODE	このテーブルは、異なる複数の識別システムまたはドメインの下にある 1 つの組織エンティティーの一意の識別情報を含んでいます。調達システム内のバイヤー組織とサプライヤー組織は、この識別情報を使用して、相互に識別することができます。

テーブル名	説明
OUTPUTQ	IBM 内部使用のために予約済み。
OUTPUTQDSC	IBM 内部使用のために予約済み。
PARTICIPNT	取引 Participant テーブルです。
PARTROLE	Participant の役割のテーブルです。
PARTROLEDS	Participant の役割の記述テーブルです。
PATTRDESC	このテーブルには、Personalization 属性の説明が含まれます。
PATTRIBUTE	サイトでサポートされている Personalization 属性です。
PATTRPROD	PATTRIBUTE および CATENTRY テーブル間の関係テーブル。
PATTRVALUE	Personalization 属性値テーブルです。このテーブルは、Personalization 属性に関連付けられた値を保持します。
PAYSUMMARY	このテーブルの各行は、外部の会計システムに送信可能な支払いの要約 XML を保管します。この要約は、ストア、アカウント、および支払ポリシーごとに保管されます。
PICKBATCH	ピッキング・バッチに関する情報を記録します。ピッキング・バッチは、配送センターでの処理のために複数のオーダー・リリースをグループ化する方法です。
PLCYACCDSC	このテーブルは、アカウント・ポリシーに関する言語依存情報を保管します。
PLCYACCLCK	アカウント・ロックアウト・ポリシーを保管します。
PLCYACCT	アカウント・ポリシーを保管します。
PLCYLCKDSC	このテーブルは、アカウント・ロックアウト・ポリシーに関する言語依存情報を保管します。
PLCYPASSWD	パスワード・ポリシーを保管します。
PLCYPWDDSC	このテーブルは、パスワード・ポリシーに関する言語依存情報を保管します。
PLCYTYCMIF	ポリシー・タイプとコマンド・インターフェースの関係テーブルです。
PLCYTYPDSC	ポリシー・タイプの記述テーブルです。
POLICY	ビジネス・ポリシー・テーブルです。
POLICYCMD	ポリシーとコマンドの関係テーブルです。
POLICYDESC	ポリシーの記述テーブルです。
POLICYTC	このテーブルは、取引条件によってどのビジネス・ポリシーが参照されているかを示します。
POLICYTYPE	ポリシー・タイプ・テーブルです。
PROCBUYPRF	このテーブルには、調達システム統合をサポートするための、調達システム・プロトコルの、バイヤー組織特定のプロファイル情報が含まれます。
PROCMSGVW	このテーブルには、調達システムに送信される応答メッセージを構成するのに使用される、ビュー名が含まれます。応答メッセージ構成は、このテーブルを使って (バイヤーごと、プロトコルごと) カスタマイズ可能です。
PROCROTCL	このテーブルの各行は、調達システム・プロトコルおよびそのバージョン番号を表します。たとえば、cXML、OCI、OBI などです。
PROCSYS	このテーブルの各行は、調達システムを表します。調達システムには、Ariba、Oracle、CommerceOne などがあります。
PRODSETDSC	このテーブルには、ProductSets に関連した言語依存情報が入ります。
PRODUCT	この要約テーブルは、ストアを、ストア内の CatalogEntries とそれらの提供価格に関連付けます。基礎となるテーブル CATENTRY、CATENTDESC、STORECENT、STOREENT、OFFER、OFFERPRICE、TRADEPOSCN 内にあるデータを基にして事前に計算した結果を含んでいます。

テーブル名	説明
PRODUCTSET	このテーブルには、ProductSet の定義が保持されます。 ProductSet テーブルの実際の表記は、PRSETCEREL テーブルに保持されます。
PRSETCEREL	このテーブルは、ProductSet の拡張表示 (発行される) 形式です。
PURCHASELT	購入限度テーブル。
QTYUNITMAP	このテーブルの各行は、QuantityUnit (QTYUNIT テーブル内に定義されています) を外部の標準内に定義された測定コードの単位にマップします。
RA	取引先から納品される予定の在庫に関する一般的な情報を記録します。
RABACKALLO	各行は、予測在庫に対するバック・オーダーの割り振り方法に関する情報を含んでいます。
RADETAIL	予測在庫レコード上のアイテムに関する詳細情報です。
RCPTAVAIL	どの配送調整が受け取った在庫にアクセスするかを定義します。
RCPTITMVW	すべての Stores と FulfillmentCenters にわたって、RECEIPT テーブルから利用可能な 1 つのアイテムの在庫の数量を要約したビューです。
RCPTSTFFVW	1 つの Store が FulfillmentCenter で所有している 1 つのアイテムに関して、RECEIPT テーブルから利用可能な在庫の数量を要約したビューです。
RCPTSTVW	1 つの Store がすべての FulfillmentCenters にわたって所有している 1 つのアイテムに関して、RECEIPT テーブルから利用可能な在庫の数量を要約したビューです。
RECEIPT	各行は、FulfillmentCenter でのアイテムの各受け取りに関する情報を含んでいます。
REFUNDMTHD	IBM 内部使用のために予約済み。
RFQ	RFQ テーブルは、基本 RFQ データを保持します。
RFQPROD	RFQ 要求および商品の関係テーブル。このテーブルは、RFQ で要求される商品についての情報を保管します。
RFQRSP	RFQ 応答テーブル。このテーブルには、基本 RFQ 応答情報が保管されます。
RFQRSPPROD	RFQ 応答および商品の関係テーブル。このテーブルは、特定の RFQ 応答に含まれる商品を保管します。
RFQRSPTCRL	1 つの指定された RFQ 使用条件と、この使用条件への RFQ 応答の間の関係。
RICHATTR	この要約テーブルは、Attribute CatalogEntries を AttrValue CatalogEntries に関連付けます。このテーブルは、基礎となるテーブル ATTRIBUTE と ATTRVALUE 内に存在するデータを基に事前に計算された結果を含んでいます。
RLDISCOUNT	IBM 内部使用のために予約済み。
RMA	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) のコンテナです。
RMAAUTHLOG	このテーブルは、各返品商品取引許可 (RMA) が承認された日時 of 記録です。変更が実施され、1 つの RMA が再承認された場合は、1 つの RMA が複数回記録される場合があります。
RMACHARGE	このテーブルは、販売可能な商品またはサービスを対象としない返品商品取引許可 (RMA) に適用された料金またはクレジットを保管します。この料金またはクレジットは、RMA 全体または特定の RMA アイテムに適用できます。たとえば、在庫補充費や配送クレジットなどがあります。
RMAIADJCRD	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) アイテムの調整クレジットを保管します。これらは、バイヤーにリファンドされるオーダー・アイテム調整の一部です。
RMAIDNYRSN	返品商品取引許可 (RMA) アイテムの拒否の理由を指定する結合テーブルです。
RMAITEM	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) の返品またはクレジットに関するアイテム情報を保管します。

テーブル名	説明
RMAITEMCMP	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) に含まれる在庫アイテムの最小単位を説明します。
RMATAX	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) の税金のクレジットを保管します。
ROLE	このテーブルは、WebSphere Commerce 内に定義された役割を保管します。役割の作成後には、グラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して役割の名前や説明を変更することはできません。
RTNDNYDESC	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) の拒否の理由に関する言語依存情報を保管します。
RTNDNYRSN	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) アイテムの拒否理由を保管します。これらは、RMA アイテムがシステムによって自動的に承認されなかった理由です。
RTNDSPCODE	このテーブルは、受け取ったアイテムの後処理の方法を説明する返品後処理コードを保管します。
RTNDSPDESC	このテーブルは、返品処分コードに関する言語依存情報を保管します。
RTNRCPTDSP	このテーブルは、返品アイテムが処分された方法を説明します。
RTNREASON	このテーブルは、商品に対する顧客の不満の理由を保管します。
RTNRECEIPT	このテーブルは、返品商品取引許可 (RMA) により返品されたアイテムが受け取り済みであることを示す受け取りレコードを保管します。さらに受け取り済みアイテムに関する情報を指定します。
RTNRSNDESC	このテーブルは、返品理由コードに関する言語依存情報を保管します。
SCHCMD	ストアによってスケジュール済みジョブとして使用できる URL コマンド。これは、管理コンソールのスケジューラー・メニュー用です。
SHPARJURGP	このテーブルの各行は、配送先住所が ShippingJurisdictionGroup と一致するすべての OrderItems に ShippingArrangement が適用されることを示します。SHPARRANGE.FLAGS を参照してください。
STGUINDTAB	固有索引の競合をチェックするための構成テーブルです。
STORECNTR	このテーブルの各行は、ストア内に Contract が配置されたことを示します。
STOREITEM	このテーブルの各行は、特定のストアが特定の BaseItem の指定アイテムに在庫を割り振る方法に影響を与える属性を含んでいます。そのストアの行がない場合は、そのストアが属する StoreGroup の行が使用されます。
STORITMFFC	このテーブルの各行は、特定のストア (または StoreGroup 内のすべてのストア) と FulfillmentCenter の BaseItem に関する情報を含んでいます。
TCDESC	取引条件の記述テーブルです。
TCPITMAP	このテーブルは、Coupon Decision Support (クーポン・デシジョン・サポート) システムの現在のクーポンに適用可能なショッピング・カートのすべてのアイテムを保管します。
TCSUBTYPDS	T&C サブ・タイプの記述テーブルです。
TCSUBTYPE	T&C サブ・タイプのテーブルです。
TCTYPE	このテーブルは、取引条件のタイプを含んでいます。
TERMCOND	取引条件のテーブルです。
TFALGOPOL	Trading Framework Algorithm Policies (取引フレームワーク・アルゴリズムのポリシー) です。このテーブルは、サポートされているすべてのアルゴリズム・タイプを 1 つまたは複数のポリシーに関連付けます。たとえば、マッチング・アルゴリズムは、“多対多”のマッチング、“1 対多”のマッチング、“部分的な”マッチングなどを実行することができます。

テーブル名	説明
TFALGOREG	Trading Framework Algorithm Registry (取引フレームワーク・アルゴリズム・レジストリー) です。このテーブルに登録されたアルゴリズムは、取引プロセスに動的に関連付けることができ、また、プロセス内の特定の適切な段階で適用することができます。
TFALGOTYPE	Trading Framework Algorithm Type (取引フレームワーク・アルゴリズム・タイプ) です。価格設定、マッチング、評価など、取引フレームワークがサポートしているすべてのアルゴリズム・タイプをこのテーブルに登録する必要があります。
TFALGPOLDS	Trading Framework Algorithm Policy Description (取引フレームワーク・アルゴリズム・ポリシーの説明) です。
TFALGTYPDS	Trading Framework Algorithm Type Description (取引フレームワーク・アルゴリズム・タイプの説明) です。
TFALREGDSC	Trading Framework Algorithm Registry Description (取引フレームワーク・アルゴリズム・レジストリーの説明) です。
TFDOMAIN	Trading Framework Domain (取引フレームワーク・ドメイン) です。取引フレームワークがサポートするすべてのコンポーネントをこのテーブルに登録する必要があります。
TFDOMDSC	Trading Framework Domain Description (取引フレームワーク・ドメインの説明) です。
TFEXTENG	Trading Framework Extended Engine (取引フレームワーク拡張エンジン) です。このテーブルは、取引エンジンが必要とする可能性のある追加情報を保持します。
TFSBDOMAIN	Trading Framework Subdomain (取引フレームワークのサブドメイン) です。このテーブルは、サポートされているドメインのすべてのサブドメインのリストを含んでいます (ドメインについては TFDOMAIN テーブルを参照してください)。たとえば、取引ドメイン “Forward Auctions” に、“Open Cry”、“Sealed Bid”、および “Dutch” のサブドメインが含まれる場合が考えられます。
TFSBDOMDSC	Trading Framework Subdomain Description (取引フレームワーク・サブドメインの説明) です。
TFTRADENG	Trading Framework Trading Engine (取引フレームワーク取引エンジン) です。取引エンジンは、同様の方法で 1 つ以上の取引プロセスを管理することができます。
TFTRENGDSC	Trading Framework Trading Engine Description (取引フレームワーク取引エンジンの説明) です。
TMPBOLIST	IBM 内部使用のために予約済み。
TMPCMLIST	IBM 内部使用のために予約済み。
TMPFFCLIST	IBM 内部使用のために予約済み。
TMPRADTL	IBM 内部使用のために予約済み。
TMPRCTLIST	IBM 内部使用のために予約済み。
TORCPMAP	このテーブルは、デシジョン・サポート・システムの実行中に、現在のショッピング・バスケットに適用可能なクーポンに関する情報を保管します。
TRADING	このテーブル内の各行は、取引上の合意を表します。
TRDATTACH	取引と添付事項の関係テーブルです。
TRDDEPAMT	このテーブルは、Orders または OrderItems ごとに、Trading Agreements (取引上の合意) による Deposited Amounts (処分された数量) を追跡するために使用されます。
TRDESC	取引上の合意の記述テーブルです。
TRDPURAMT	このテーブルは、Orders または OrderItems ごとに、Trading Agreements (取引上の合意) による Purchase Amounts (購入数量) を追跡するために使用されます。エントリーは、Right-to-Buy by Amount (数量による購入権利) または Obligation-to-Buy by Amount (数量による購入義務) の条件を持つ Trading Agreement (取引上の合意) に対してのみ作成されます。

テーブル名	説明
TRDREFAMT	このテーブルは、オーダーおよび RMA Id ごとに Refund Amounts by Trading Agreements (取引上の合意によるリファンド数量) を追跡するために使用されます。エントリーは、Right-to-Buy by Amount (数量による購入権利) または Obligation-to-Buy by Amount (数量による購入義務) の条件を持つ Trading Agreement (取引上の合意) に対してのみ作成されます。
TRDTYPE	取引タイプのテーブルです。
TRDTYPEDSC	取引タイプの記述テーブルです。
VENDOR	各行は、一般的に在庫を提供するために、ストアまたは StoreGroup 内のすべてのストアと関係を持つ取引先を定義します。
VENDORDESC	取引先に関する言語依存の情報です。
VERSIONSPC	各行は、商品バージョンと指定アイテム間の関係を定義します。
WCMLANG	このテーブルは、Catalog Manager Web Editor 用に現在インストールされている言語を含んでいます。
WCSDICTNRY	IBM 内部使用のために予約済み。
WCSDTNRYS	これは WCSDICTNRY テーブルに対する記述テーブルです。

特記事項

本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の動作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Lab Director
IBM Canada Ltd. Laboratory
8200 Warden Avenue
Markham, Ontario
L6G 1C7
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この文書には、他社のインターネット・サイトへの参照を含む、他社製品の情報が含まれている場合があります。IBM は、そのような情報の正確性、完全性、または使用については何ら責任を負いません。

この製品は、SET プロトコルに基づいています。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX	CICS	DB2
DB2 Extenders	Encina	HotMedia
IBM	iSeries	MQSeries
PerfectPhoto	SecureWay	VisualAge
WebSphere	400	

Lotus および Domino は、Lotus Development Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

SET、SET ロゴ、SET Secure Electronic Transaction および Secure Electronic Transaction は、SET Secure Electronic Transaction LLC の商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



Printed in Japan